



東京藝術大学

藝大プロジェクト 2022 第2回

能『土蜘蛛』・妖怪を舞う

〈第一部〉講演「能の養丸の妖怪たち―『土蜘蛛』とその周辺―」
 小松和彦（国際日本文化研究センター名誉教授）

〈第二部〉能『土蜘蛛』藤波重彦「能楽観世流」ほか

大 鬼 行

百 夜

ワキツレ (独武者の従者)
 間狂言 (独武者の従者)
 ワキツレ (独武者の従者)
 ワキツレ (独武者の従者)
 間狂言 (独武者の従者)

藤波重彦 (僧・土蜘蛛の精)
 清水義也 (清浄光)
 新江和人 (類夜の従者)
 金子聡哉 (胡蝶)
 殿田謙吉 (独武者の従者)
 大日方寛 (独武者の従者)
 小林克都 (独武者の従者)
 野村裕基 (独武者の従者)

笛 小鼓 大鼓 後見

藤田貴寛
 飯田清一
 柿原弘和
 林雄一郎
 上田公威
 野村昌司

地謡

浅見重好
 下平克宏
 青木健一
 田口亮二

大槻崇充
 鎌本嶺貴
 梅若志長
 後藤真琴

2022 | 11 | 27 SUN 15:00 開演 (14:15 開場)

入場料 4,000円 (全席指定)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

■■■ チケット取り扱い (10/12(水) 発売開始) ■■■

ヴォートル・チケットセンター <http://ticket.votre.co.jp> TEL : 03-5355-1280 / 平日10:00~18:00
 チケットぴあ <https://t.pia.jp> 《Pコード:228-318》
 東京文化会館チケットサービス <https://www.t-bunka.jp/tickets> TEL : 03-5685-0650 / 10:00~18:00 (休館日を除く)
 店頭販売 : 10:00~19:00 (休館日を除く)
 イープラス(e+) <https://eplus.jp>
 藝大アートプラザ(店頭販売のみ) TEL : 050-5525-2102 / 11:00~18:00 (月曜休、他不定休日を除く)

■■■■ お問い合わせ ■■■■

東京藝術大学演奏芸術センター TEL : 050-5525-2300 東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>

※当日券の販売はございません。
 ※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
 ※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。

主催 | 東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部

助成 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 文化庁【令和4年度日本博イノベーション型プロジェクト補助対象事業(東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト)2022】

藝大百鬼夜行

能『土蜘蛛』・妖怪を舞う

日本人は、なぜこれほどまでに妖怪に魅せられるのでしょうか。

もののけが病気や死をもたらすとされた古代から、妖怪絵巻が人気を博した近世を経て、現代へ——その存在に決定的なポピュラリティを与えた水木しげるが、今年生誕100年を迎えました。

藝大プロジェクト2022「藝大百鬼夜行」では、芸術家にとっても創造の源泉であり続けた「この世ならざるもの」を紐解き、古今東西の魑魅魍魎にまつわる作品群を全3回にわたってご紹介いたします。

第2回では日本における妖怪を、「怨霊と鎮魂」を基本構造の一つとする能の世界の視点からご体験ください。文化人類学者・民俗学者で妖怪論の第一人者として知られる小松和彦さんをお招きしてのレクチャーに続いて、東京藝大の能楽観世流教員陣が演じる能『土蜘蛛』をノーカットでお届けいたします。

人類の想像力を巡る果てしない旅を、ぜひ一緒にしましょう。

松岡あさひ (東京藝術大学演奏藝術センター准教授)

藝大百鬼夜行 第1回

荒俣宏・小室敬幸の妖怪藝術大学

2022.10.16 (日) 15:00開演 (14:15開場)

入場料 4,000 円 (全席指定)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

<第1部>

日本人と妖怪

<第2部>

西洋の作曲家と妖怪

ナビゲーター: 荒俣宏、小室敬幸

出演: 川嶋信子 (薩摩琵琶)、野口千代光 (ヴァイオリン)
山澤慧 (チェロ) ほか

藝大百鬼夜行 第3回

『兵士の物語』～悪魔に魂を売った者たち

2022.12.10 (土) 15:00開演 (14:15開場)

入場料 4,000 円 (全席指定)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

<第1部>

トークインコンサート

ナビゲーター: 川島素晴 (国立音楽大学准教授/作曲家)

<第2部>

ストラヴィンスキー『兵士の物語』

出演: 川村亘平齋 (影絵師)、志人 (語り部)

松原勝也 (ヴァイオリン)、藤本隆文 (打楽器) ほか

「土蜘蛛」あらすじ・見所

時は平安の世。病に苦しむ源頼光を、典薬の頭からの薬を携え胡蝶が見舞う。胡蝶と入れ替わりに見舞に来たのは怪しげな僧。言葉をかけながら近づき、千筋の糸を投げ掛け頼光を襲う。化生の者と見るや頼光は枕元の名刀・膝丸にて切りつけるが、僧はそのまま姿を消す。騒ぎを聞きつけ馳せ参じた独武者。化生の者が流した血の跡を辿り棲み処を捜し出すが、その塚の中には恐ろしい土蜘蛛の精魂が…
千筋の糸を投げ掛ける醍醐味。頼光の病床や土蜘蛛の塚などの作物、多くの登場人物。写実に徹した異色の能。

小松 和彦 Kazuhiko Komatsu

国際日本文化研究センター名誉教授

1947年、東京都生まれ。東京都立大学大学院博士課程修了。信州大学助教授、大阪大学助教授及び教授を経て、国際日本文化研究センター教授・同所長を務め、現在は、同名誉教授。京都先端科学大学特別招聘客員教授。専門は文化人類学・民俗学。長年、日本の怪異・妖怪文化研究を牽引してきた。主な著書に、「いざなぎ流の研究」(角川学芸出版)、「憑霊信仰論」「妖怪学新考」「日本妖怪異聞録」(以上、講談社学術文庫)、「妖怪文化入門」「神隠しと日本人」「異界と日本人」「鬼と日本人」(以上、角川ソフィア文庫)、「百鬼夜行絵巻の謎」(集英社新書)、「神になった日本人」(中公新書ラクレ)など多数。2013年、紫綬褒章受章。2016年、文化功労者顕彰。



藤波 重彦 Shigehiko Fujinami

東京藝術大学准教授/能楽観世流

シテ方観世流。シテ方観世流能楽師の故・藤波重満(東京藝術大学名誉教授)の長男。父および二十六世観世宗家・観世清和に師事。「鶴亀」で初舞台。1985年「猩々」で初シテ。以後、「石橋」「乱」「道成寺」「砧」「望月」「安宅」「隅田川」などを披演。慶応義塾大学および東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同非常勤講師を経て2019年より准教授。公益社団法人能楽協会理事、一般社団法人観世会理事、重要無形文化財総合指定保持者。「藤波能の会」を主宰。海外公演歴も多数ある中、2012年には、藝大が招聘され英国オーフォードの聖パソロミュー教会で催された能「隅田川」と、それに題材を得て作曲されたブリテンのオペラ「カーリユー・リヴァー」の同時上演公演に参加。



※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンターTEL:03-5355-1280(平日10時~18時)までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出演者・スタッフの体調管理、入場者の制限、換気強化等の対策に取り組んでおります。ご来場のお客様にも体調管理、手指消毒、マスク着用等にご協力をお願いいたします。なお、「37.5℃以上の発熱、咳・呼吸困難、体調に不安のある方」、「マスクを着用されない方」、その他対策にご協力いただけない場合は、主催者の判断により入場をお断りいたします。最新情報は藝大ホームページでご確認ください。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、
東京メトロ千代田線根津駅
より徒歩10分

■京成線京成上野駅、
東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅
より徒歩15分

※駐車場はございませんので、
お車でのご来場はご遠慮ください。

